

## 令和4年度 実施事業の概要

教育事業名:じっけん! はっけん! 親子でしぜんたいけん! 夏

期間 令和4年6月4日(土)~5日(日)

対象及び参加人数:幼児または小学生とその家族 14 家族 47 名

目的:

- ・ 幼児、小学生およびその家族に、自然体験活動や科学実験の機会を提供する。
- ・ 自然体験や科学実験の楽しさを味わう

事業概要:

- ・保護者を対象に体験活動の意義や効果に関する講話を行い、体験活動の普及啓発を行う。
- ・幼児・小学生およびその家族に、野鳥観察や星座観察といった自然体験活動の機会を提供する。
- ・幼児・小学生およびその家族に、科学の不思議さや面白さを感じられる科学実験の体験を提供する。
- ・活動を通して家族のきずなを深める機会を提供する。

【講師】

- ・保護者向け講話 小林朋広 (国立妙高青少年自然の家所長)
- ・野鳥観察 小塚則夫氏 曾我茂樹氏 (2名とも日本野鳥の会会員)
- ・星座観察 稲葉浩一氏 鈴木恒夫氏 水野敏明氏(3名とも NPO 法人妙高山麓自然体験活動指導者会)
- ・科学実験 鹿島真由美(国立妙高青少年自然の家職員)

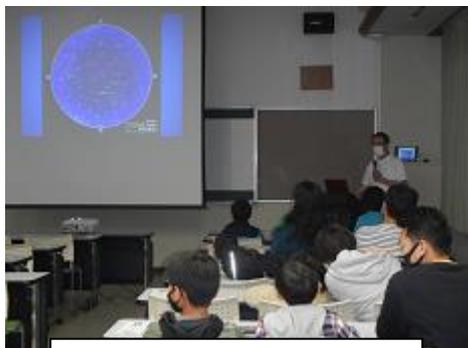
成果:

妙高の豊かな自然を満喫してもらうため、星座観察と野鳥観察を行った。

星座観察は天候が悪かったため、6月に見られる星の話や七夕の話、惑星の話を室内で聞いた。

野鳥観察は朝6時から敷地内を散歩しながら、望遠鏡で鳥の姿を観察したり鳴き声を聞いたりした。初めて野鳥観察をしたという親子が多く、歩きながら「早起きしてよかったね。」という子どものつぶやきとそれに呼応する保護者の会話が微笑ましかった。また、この日に確認できた野鳥の数は15種類と、当施設の森に多くの野鳥が生息していることも分かった。

科学実験は身近な材料を使うことで、家庭でも再チャレンジできる内容にした。また、幼児から小学生まで安全に楽しめる実験、親子で協力し合うことができるような実験にした。



星座観察 (室内で星の話)



野鳥観察



親子で科学実験

課題:

曇天で実際の星空を見ることができなかった。野鳥観察は幸い、雨が降っていなかったので実施できたが、天候に左右される自然観察の難しさを感じた。